

平成24年7月4日（水）

## 雷別ドングリ倶楽部第2回の活動

7月4日（水）、標茶町雷別地区国有林の自然再生事業地で雷別ドングリ倶楽部会員12名と、当センターで就業体験実習（インターンシップ）をしている京都府立大学生が参加して、今年度2回目の活動を実施しました。

今回の活動は、自然再生事業地で樹木観察用に設けた遊歩道の整備（草刈り）と、雷別地区における動物の生息状況を確認するための自動撮影カメラの設置を行いました。

遊歩道の整備では、歩道上に生えた広葉樹の幼木を雑草と一緒に刈り取らないよう注意を払いながら作業を行いました。

自動撮影カメラの設置は、野生動物生息調査の一環として実施するもので、初めにカメラの仕組みや設置方法など担当者から説明を行い、カメラが誤作動しないよう周りの雑草などを刈払い、どのような動物が写るのかを期待しながら、3箇所を設置しました。

また、カメラ設置のための移動途中に、これまでの雷別ドングリ倶楽部活動で植樹した苗木の生長を観察し、第2回目の活動を終わりました。



遊歩道の刈払い作業



自動撮影カメラの設置